

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	家電量販店（地区統括部長）	・4月以降、札幌地域で地上デジタル放送の試験電波が出されるため、薄型テレビとハイビジョンDVDレコーダーの需要が増大する。
		通信会社（企画担当）	・企業の業績も持ち直しており、求人倍率も少しずつ改善してきている。企業の設備投資意欲も強気になってきており、期待が持てる。
	やや良くなる	一般小売店〔土産〕（店員）	・さっぽろ雪まつりが終わっても、温泉、スキーを目当てに香港や台湾からの観光客が増えてくる。ただし国内旅行の日本人観光客、スキー客、スノーボード客が減っているので、どうやってアジアの観光客を取り込むかが問題である。
		スーパー（店長）	・天候による影響はあったが、12月、1月の販売量は前年比をわずかではあるが上回っており、良くなってきている兆しがある。
		コンビニ（エリア担当）	・客数や買上個数が前年を上回るようになってきた。特に、1回の買物で客が買う個数がわずかではあるが増加している。
		一般レストラン（スタッフ）	・酒類を含めた飲料の売上は若干減少しているが、売上の核となる食事メニューの単価がアップしており、価格よりも自分の食べたいもの、価値のあるものには多少高くてもお金を払う傾向がみられる。ようやく低価格競争から脱したようだ。
		観光型ホテル（経営者）	・冬期観光客がじわじわと増え始め、特に南西日本からのツアー客や台湾からの観光客が好調である。あとは観光客の消費拡大を期待するだけである。
		設計事務所（職員）	・新年度発注予定の官の委託業務や医療施設や物流施設などの民間の新築建物設計業務の見積照会が前年より増えている。
	変わらない	住宅販売会社（従業員）	・豪雪等の反動で2～3か月後の雪解け時期にマンションの人気が高まる。また耐震強度偽装問題も解決することで、ますますマンション需要が出てくる。
		商店街（代表者）	・集客力の大きい大型店が安定感を保ちつつあり、商店街にもやや元気が出てきた感もあるが、家計そのものが元気になっておらず、景気回復に結びつけることはできない。
		スーパー（企画担当）	・北海道開発局の予算削減や北海道庁の人件費削減などが消費マインドにマイナスの影響を及ぼす懸念がある。
		コンビニ（エリア担当）	・公共工事の増加に伴う工事関係者の来店が見込まれるものの、新規競争相手が進出するといううわさがある。
		乗用車販売店（従業員）	・例年3月になると客の動きが出てくるが、今年は雪が多いため客の動きが遅れる。
		乗用車販売店（従業員）	・地域差はあるものの、来客数の動きが良くなっている店舗もあり、これから期待できる。
高級レストラン（スタッフ）		・経済や観光など、地域に目立った動きもなく、売上が停滞する。	
タクシー運転手		・タクシー業に関しては、これから春に向かって急速に需要が高まるとは考えにくく、現状のまま推移する。	
やや悪くなる	美容室（経営者）	・客は一時的にニュース等の影響で気持ちがマイナスになってしまい、消費意欲が低下してしまう傾向がある。現在は灯油の値上がりで消費意欲が低下しているが、雪が解けると昨年並みの売上が見込める。	
	百貨店（売場主任）	・収入の安定性に対する不安が強く、そういう中で客は戸建住宅よりも賃貸住宅に流れる傾向が強くなっている。安定した収入が見込めるようにならない限り、状況は変わらない。	
	高級レストラン（スタッフ）	・道職員の人員削減及び給与の大幅カットが報道された影響で、今後については厳しい状況になる。	
やや悪くなる	高級レストラン（スタッフ）	・1～4月は1年の中でも売上が上がらない時期であるが、今年はスタートから景気の悪さを感じる。数年前からさっぽろ雪まつり期間中は、どこのホテルも空室が目立つと聞いており、当レストランも期間中は観光客の利用をほとんど見込まなくなっている。またオリンピックが開催されると夕食の売上が下がるので不安がある。数か月先の予約状況もやや悪い。	
	観光型ホテル（スタッフ）	・トリノオリンピックの影響からか、予約の出足が鈍く、2～3月とも前年に比べて低調に推移している。	

		旅行代理店（従業員）	・国内旅行は東京や関西方面の旅行客数が伸びない。間際の申込でカバーしていくがスタートの出遅れをばん回するのは困難だ。
	悪くなる	タクシー運転手	・規制緩和で新規参入により新しいタクシー会社が増えているなか、個人タクシーも2月に大幅に増えるようであり、利用客が減っていく。タクシーの台数だけが増えていくので、これから先、ますます競争が激しくなっていく。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	通信業（営業担当）	・客の新年度予算の話から、ここ数年ではみられなかったような新規設備投資案件が見込まれるため、今後について期待が持てる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・心理的な部分でデフレ改善傾向がみられるようになる。
	変わらない	金属製品製造業（経営者）	・一部の限られた業種の中では良くなっているようだが、自分たちのような農業、住宅関連分野の製品を作っている中小企業にとっては、材料の値上げ、運賃の値上げという要素がまだまだ影響しており、今後についても変わらない。
		輸送業（支店長）	・季節変動及び燃料費等の不安は相変わらずあるものの、道内向けの輸送、道外向けの輸送とも、現状と同じ状況で推移する。ただしコンテナにおける輸出入については、かなりの波乱含みである。中国向けの輸送では、他国との価格競争の影響から輸出の中心となる紙が激減しているほか、燃料費の問題で船会社が北海道への配船をためらい始めている部分があり。
		輸送業（営業担当）	・円安や油価の影響により原料コストがアップしている得意先から、作業料金の値下げ要請を受けており、今後についても厳しい状態が続く。
		通信業（営業担当）	・年度末に向けて受注が増えることもあるが、今のところ今年はそうした気配がなく、横ばいで推移する。
		金融業（企画担当）	・昨年後半以降、好調を維持してきた住宅着工は3月より札幌市で建築物の高さ制限が導入されるため落ち込みが懸念される。公務員の給与削減も予定されていることから、個人消費は伸び悩む。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・新品設備の導入を控え、商談が発生したとしても中古に走る傾向にあり、商談の少額化は否めない。
	やや悪くなる		
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・3月に入ると春商戦が開始されるため、販売スタッフの派遣が再度復活する。また企業の3月決算に伴う事務作業の増大から、一般の派遣依頼に好影響が見込まれる。新年度に向けた新商品の営業強化なども予想されることから、営業派遣に加えて、営業マンの中途採用の意欲が強まる。しかし企業が求める人材のスキルは人材派遣、中途採用ともに高い能力が要求され、特に社員の中途採用に当たっては、妥協して採用することはなく、有効求人倍率は上昇しても失業率が改善する方向に進むとは言い切れない。企業ニーズと求職、転職ニーズのかい離、ミスマッチは今後も続く。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・道外資本の大型ショッピングセンターや百貨店、飲食店の動きは活発であり、道外の案件を受注するコールセンターや製造業・請負業なども好調である。道外との関係がある企業、業種がけん引役となって、徐々に景気が回復していく。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・昨年からの求人社数の伸びが穏やかに続いており、この伸びが止まる兆しはみえない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・次年度の企業の採用経費が多く予算化されていると聞いている。直接的に採用が拡大することにはつながらないが、企業の営業及び収益が伸びるものと期待している。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・若干だが求人受理件数が伸びてきている。ただし大きな変化ではなく、また地域外のアウトソーシングや請負の比率も相変わらず高いことから、地元企業の積極的な求人意欲によるものではない可能性もあり、判断が非常に難しい。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求職者の動向は活発になってくるが、地元求人数の伸びには大きな期待はできない。
		職業安定所（職員）	・新規求人数が3か月連続して減少している。企業の求人意欲も低下している。

	職業安定所（職員）	・新規求人は増加傾向にあるが、その約6割がパート、派遣、請負求人等の非正規雇用求人であり、正社員への就職を希望している求職者には依然として厳しい状況が続いている。
やや悪くなる		
悪くなる	-	-